

紙の博物館について



理念 「紙の歴史をたどり、現在を知り、未来を考える」

紙の博物館では、日本の伝統的な「和紙」、近代日本の発展を支えた「洋紙」の両面から、紙の歴史・文化・産業を中心に紹介しています。4万点の資料と1.5万点の図書を保管して展示公開する、世界でも数少ない紙専門の総合博物館です。

紙の博物館の楽しみ方

見学する ◆展示ガイドアプリをダウンロードすると、お手持ちのスマートフォン、タブレットで館内の説明文をご覧いただけます。(日本語・英語)

◆解説サポーターが展示をご案内します。(事前予約可)

しらべる ◆紙・パルプ・製紙業・和紙およびその周辺分野の図書・雑誌を所蔵する紙の専門図書室があります。

開室時間
10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(12:00 ~ 13:00 閉室)

※休業日がありますので、ホームページでご確認ください。
※事前に予約・申請が必要な図書・雑誌もあります。

体験する ◆牛乳パックを再生した原料から手すきのオリジナルはがきやしおりをつくる「紙すき教室」を行っています。(作業時間はお一人10分程度)

日時 毎週土・日曜日 13:00 ~ 14:30
(他のイベント開催時は中止の場合があります。)
(ホームページでご確認ください)
1F イベントホールにて、整理券を配布
(当日12:50 ~ 14:15)

費用 無料(入館料別)
定員 なし

◆季節ごとのイベントは、ホームページ・SNSで随時お知らせしています。



ご利用案内

開館時間 10:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土日・祝日を除く)、
年末年始、臨時休館日

入館料	個人	団体(20名以上)
大人	400円	320円
小中高生	200円	160円

・身体障がい者手帳・愛の手帳(療養手帳)または精神障がい者福祉手帳をお持ちの方ご本人は無料、介助の方は半額となります。(入館の際に手帳をご提示ください)

・3館共通券(一般800円、小中高320円)は、北区飛鳥山博物館・渋沢史料館も見学いただけます。(有効期限3か月)

・かみはく友の会会員を募集しております。詳細はホームページをご覧ください。

アクセス



電車
JR京浜東北線 王子駅南口下車 徒歩5分
東京メトロ南北線 西ヶ原駅下車 徒歩7分

都電
東京さくらトラム(都電荒川線)飛鳥山停留場下車 徒歩3分

バス
都バス 飛鳥山停留所下車 徒歩4分
北区コミュニティバス 飛鳥山公園停留所下車 徒歩3分
※専用の駐車場はございません。
飛鳥山公園駐車場(有料)をご利用ください。



公益財団法人 **紙の博物館**
〒114-0002 東京都北区王子1-1-3 (飛鳥山公園内)
TEL (03) 3916-2320 FAX (03) 5907-7511
<https://www.papermuseum.jp>



PAPER MUSEUM



紙の博物館 ご案内



フロアガイド

コレクション紹介

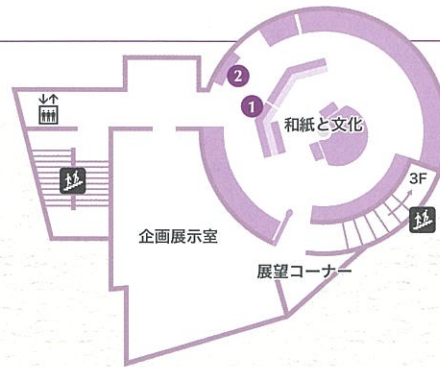
4F 和紙と文化

紙の誕生と伝播、日本文化を支えてきた和紙の歴史・製造、産地と多様な用途を紹介。

和紙文化コレクション

- 企画展示室
- 展望コーナー

4F

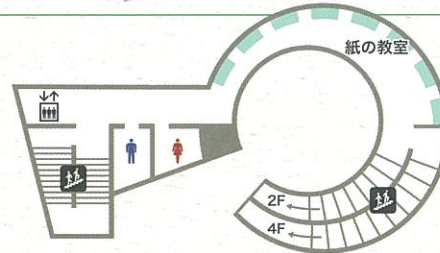


3F 紙の教室

紙の基本とリサイクルなどを小学生向けに紹介。クイズなど体験的に紙を学べます。

- 映像コーナー
- クイズコーナー

3F



2F 紙と産業

日本の近代製紙産業の歴史、紙の原料と製造工程、種類や用途、製紙業界の取り組みを紹介。

産業遺産コレクション 機械

- エントランスホール
- 受付
- ミュージアムショップ

2F



1F 記念碑コーナー

近代製紙産業に関する記念碑を展示。

産業遺産コレクション 記念碑

- イベントホール
- 図書室

1F



和紙文化コレクション

百万塔・陀羅尼 770年 ①

刊行年代の明らかな現存する最古の印刷物の一つである陀羅尼と、それを納めた木製の百万塔。



木版画「孔雀明王像」1990年 ②

1303回摺り重ねた世界最大級の木版画。明治37年(1904)セントルイス万博で名誉金杯を受賞した木版画を、平成になって再摺した。



産業遺産コレクション 機械

ボロ蒸煮釜 ③

明治初期の紙の主な原料であった木綿等のボロ(破布)から、パルプ(繊維のあつまり)を作るための釜。現存品は貴重。



世界最初の抄紙機(模型) ④

1798年に仏人レイ・ロベールが発明した抄紙機の1/2サイズ模型。現在広く使われる長網抄紙機の原型。



産業遺産コレクション 記念碑

パピールファブリック門扉 ⑤

明治9年(1876)に操業した京都府営製紙工場で、昭和20年まで使用された工場の門扉。



撮影について



※フラッシュ撮影禁止、三脚使用禁止
 ※撮影禁止の明記のあるものは、その指示に従ってください。また、撮影画像を出版物、商業利用等で使用される場合は、受付にお申し出ください。

ご観覧にあたって

展示品保護のため、また多くの方にご見学をお楽しみいただくために、下記の点につきご協力をお願いいたします。



エンピツ以外の筆記具使用禁止

バリアフリー情報

- 盲導犬・介助犬・聴導犬を伴って、ご入館いただけます。
- だれでもトイレ(おむつ交換台あり)は1Fにございます。
- 車いす・ベビーカーのお貸し出しができます。
- 授乳室はございません。